

矢川浸水想定区域図

(矢川浸水想定区域図)

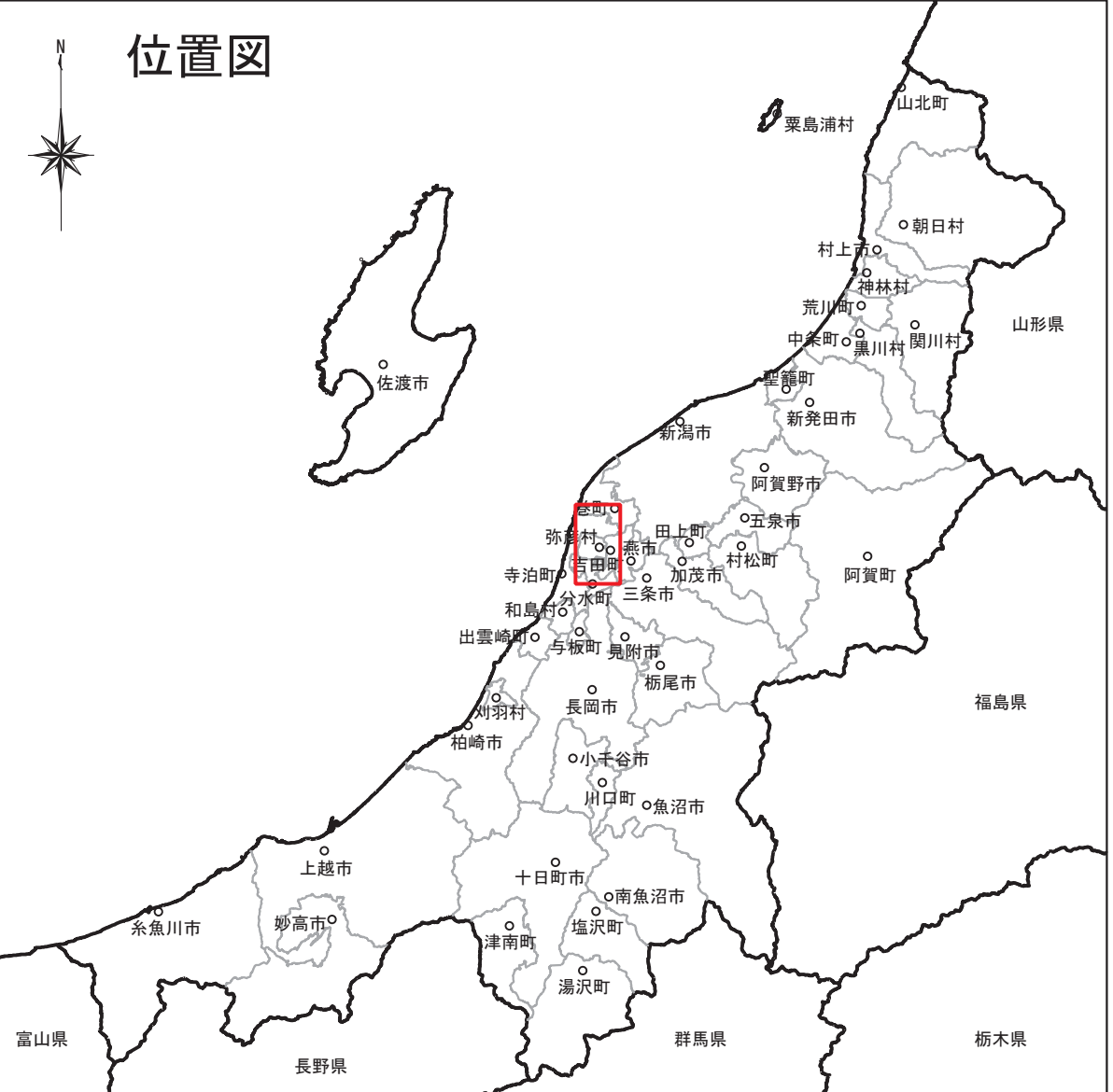
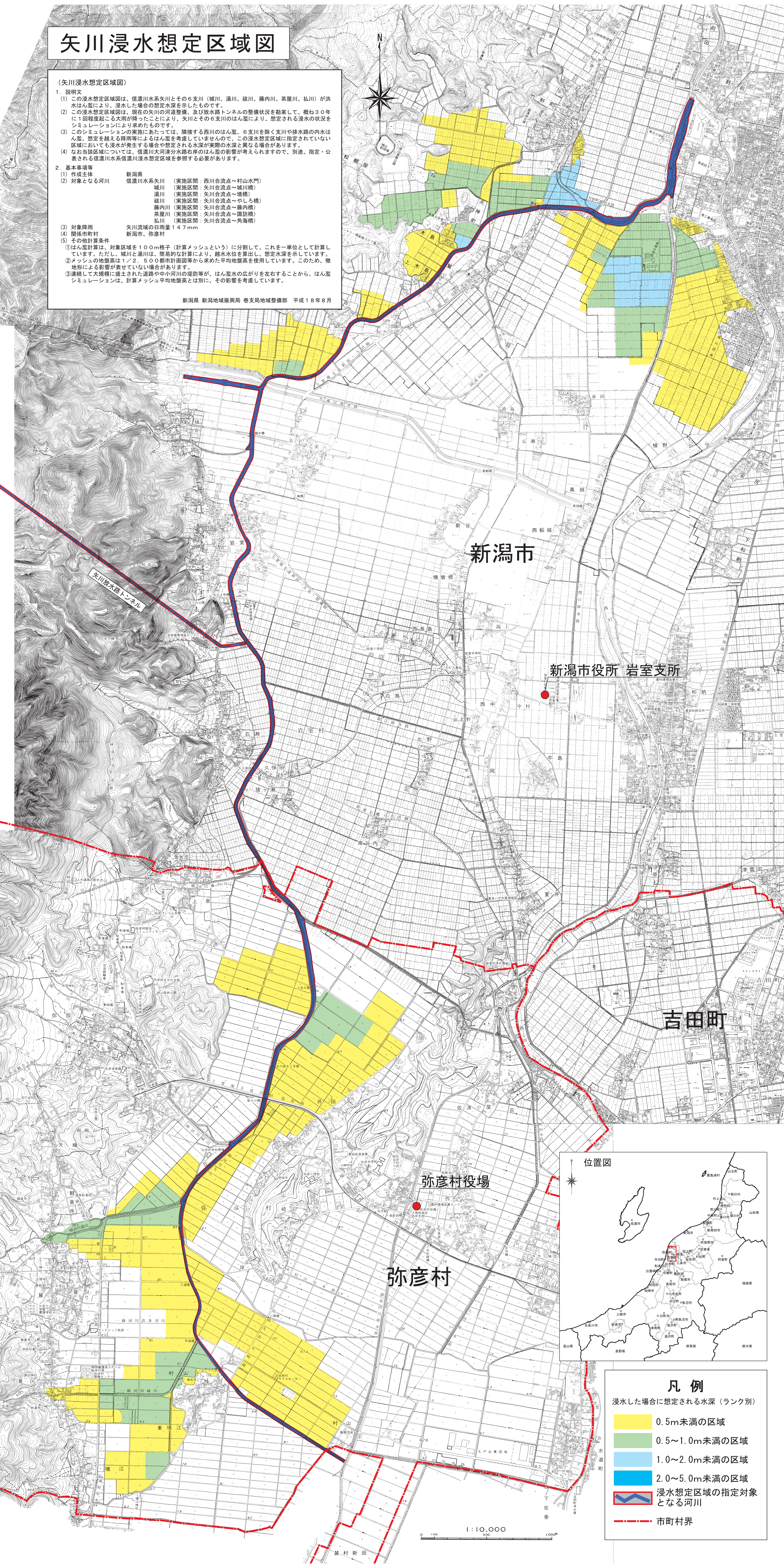
1. 説明文

- (1) この浸水想定区域図は、信濃川水系矢川とその6支川（城川、湯川、祓川、藤内川、茶屋川、弘川）が洪水はん濫により、浸水した場合の想定水深を示したものです。
- (2) この浸水想定区域図は、現在の矢川の河道整備、及び放水路トンネルの整備状況を勘案して、概ね30年に1回程度起こる大雨が降ったことにより、矢川とその6支川のはん濫により、想定される浸水の状況をシミュレーションにより求めたものです。
- (3) このシミュレーションの実施にあたっては、隣接する西川のはん濫、6支川を除く支川や排水路の内水はん濫、想定を超える降雨等によるはん濫を考慮していませんので、この浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や想定される水深が実際の水深と異なる場合があります。
- (4) なお当該区域については、信濃川大河津分水路右岸のはん濫の影響が考えられますので、別途、指定・公表される信濃川水系信濃川浸水想定区域を参照する必要があります。

2. 基本事項等

- (1) 作成主体 新潟県
- (2) 対象となる河川 信濃川水系矢川（実施区間：西川合流点～村山水門）
城川（実施区間：矢川合流点～城川橋）
湯川（実施区間：矢川合流点～境橋）
祓川（実施区間：矢川合流点～やしろ橋）
藤内川（実施区間：矢川合流点～藤内橋）
茶屋川（実施区間：矢川合流点～諏訪橋）
弘川（実施区間：矢川合流点～角海橋）
- (3) 対象降雨 矢川流域の日雨量14.7mm
- (4) 関係市町村 新潟市、弥彦村
- (5) その他計算条件
①はん濫計算は、対象区域を100m格子（計算メッシュという）に分割して、これを一単位として計算しています。ただし、城川と湯川は、簡易的な計算により、越水水位を算出し、想定水深を示しています。
②メッシュの地盤高は1/2,500都市計画図等から求めた平均地盤高を使用しています。このため、微地形による影響が表せていない場合があります。
③連続して大規模に盛土された道路や中小河川の堤防等が、はん濫水の広がりや左右することから、はん濫シミュレーションは、計算メッシュ平均地盤高とは別に、その影響を考慮しています。

新潟県 新潟地域振興局 巻支局地域整備部 平成18年8月



凡 例	
浸水した場合に想定される水深（ランク別）	
	0.5m未満の区域
	0.5～1.0m未満の区域
	1.0～2.0m未満の区域
	2.0～5.0m未満の区域
	浸水想定区域の指定対象となる河川
	市町村界

1:10,000
0 100 500 1000m